



3連休の最終日、グラウンドから大きな声が聞こえてきました。「あっ、野球部が練習試合をしているな」と思ってよく見ると、他校とではなく、本校の**野球部OBと試合をしていました。**

野球部は部員数が少なく、実践的な練習がなかなかできません。春の大会に向けて、少しでもテスト期間に入る前に、実践的な練習試合をしたいと考え、顧問がOBに声をかけると、あれよあれよという間に**高1～高3までの12人が快く集まってくれました。**

頼もしい先輩。このへんが他校との違いではないでしょうか。後輩のためという心意気とともに、そこには学年を超えた仲の良さも関係していると思いました。ここ数年の東中は他学年との壁がほとんどありません。壁を意識しないように縦割りのブロック活動を活発に行っていることもあります。根っからの優しさが上下の壁を取っ払っているようにも思えます。



練習試合の結果は現役チームの勝利。自信がつくとともに、OBの応援がこれからにも生きていくと思いました。

3年生の体育の授業では、体育館でフォークダンスをする風景が見られました。男女がへんに意識する様子もなく手をつないで、「マイム・マイム」や「オクラホマ・ミキサー」を踊っていました。ほのぼのとしたいい空気感がありました。仲がいいなあと感じさせました。

学校の中にこういう空気感が生まれているのがとてもうれしくなりました。



東中にはどこか心安らげる雰囲気を感じられます。目前に控えた公立一般入試や学年末テストなど、真剣に立ち向かう緊張場面は日々ありますが、**安らぎのある学校**という視点も重視してこれからも見守っていきます。